

秘 寫

買通第九五號

昭和六年六月一日

英領印度關稅引上説ノ再燃ト對策

近來重要諸國ニ於テ關稅ノ變更屢々行ハレ我國輸出貿易ニ重大ナル影響ヲ與ヘツツアルコトハ周知ノ事實デアアル。サリナガラ時宜ノ根本對策ガ必ズシモ行ハレタリトハ保シ難イコレ本員ノ常ニ遺憾トスルトコロデア。今同種ナル筋ヨリ秘密トシテ洩レ聞クトコロニヨレバ印度政府ハ明春（實行ヲ見ルトセバ三月一日ヨリ）又モヤヤ帝國優先權（IMPERIAL PREFERENCE）ヲ適用シテ邦品ノ印度市場躍進ニ備ヘント計畫成レリト聞ク。

ラングーン駐在
大場貿易通信員

商 工 省

小川 納



昭 和 六 年 買 大 第 二 〇 〇 一 號

昭 和 六 年 六 月 二 十 九 日

第 一 課 長

第 一 課 長

商 工 省

通 商 局 長

商 工 省 貿 易 局 出 張 員 事 務 所

商 工 事 務 官 久 保

外 務 省 通 商 局

若 松 商 務 書 記 官 殿



英領印度關稅引上説再燃ト對策ニ關スル件

本件ニ關シ別紙寫ノ通り報告有之候處右ニ關シ何等カ情報有之バ御通知相煩度此段及依
頼候也

本情報ノ如キハ昨年八月二十五日附ヲ以テ人組織物ノ關稅引上げ計畫ヲ
 内報セント同様ノ性質ヲ帶ビルモノニシテ關係業者ダケ知り秘密裡ニ其
 對策ヲ練ルヲ可トセンモ徒ニ未然ニ公表シ所謂空宣傳世間騒ギヲ演ジ實
 ヲ得ルノ機ヲ失スルガ如キ舉ニ出ツルコトハ斷ジテ避クベキモノデア
 當地有力英國系銀行家ト印度商トノ間ニ行ハレタル會談ノ一部ヲ内閣ス
 ルトコロニ依レバ印度政府ハ(一)帝國優先權ノ適用ヲ以テ英本國ヨリ輸入
 品ニ對シテハ關稅ヲ引下ゲ一々諸外國ヨリノ輸入品ニ對シテハ引上げヲ
 行フベシ。(二)英本國ハ最新式機械裝置ノ採用ヲ以テ機業合理化ノ徹底ヲ
 計ルコト。(三)金融其他種々ナル便宜ヲ當該業者ニ附與スルコト。
 以テ巨額ノ英品ヲ印度市場ニ積出シ邦品特ニビス。グーズニ對シ一戰
 ヲ交ヘントノ計畫既ニ成レトリ、英國系銀行家ハタメニ日本品ヲ手持チ
 スルコトハ不利ナレバ豫メ賣却スルヲ可トスルノ警言ヲ與ヘタルモノノ

小川 綱

如シ。紋上ハ會談ノ一節ニ過ギザルモ印度並ニ當該地方ニ於ケル日英ビ
 ース。グーズノ競争狀態ヨリ察知スルニ(ラングーン向英國ビス。グ
 ーズハ全ク邦品ノタメ當市場ヨリ驅逐セラレタ。印度市場ニ於テハ日英
 貿易戰ハ益々白熱化スルコトハ當然ノ歸結トシテ本員ハ眺メテ居ル處デ
 アル。昨年貿易週報第二卷第六號「英領印度ニ於ケルビス。グーズノ
 消費」ニ於テ續々競争ノ戰跡ヲ説明シタルトコロデア
 假ニ印度政府ハ日英商品ニ課スル關稅ノ差額ヲ以テ戰ハントスルモ問題
 ハ如何ナル値段ノモノヲ實際消費者ニ提供シ得ルカガ問題デア
 ノ外貨排斥即チ英貨不買同盟ガ事實中止セラレザル以上英貨ハ値段ハ問
 題デナイト思ハレル。アイウキン、ガンヂー協約ハ如何ナル點迄ノ實現
 ヲ見ルカガ本員ノ知ルトコロデナイガ、コレガ解決ヲ見ザル限り英國ハ
 價格ヲ以テ邦品ト戰フコトハ蓋シ容易デア
 ルマイ。

獨リラングーン市場ハ價格ヲ問題トセラレルマデウ（英貨不買同盟ガナイカラデアル）

若シ彼等ガ豫期スルガ如ク彼ノ協約ガ成立シテ完全ニピケツトガ撤回セラレタナラバ前述ノ方略ノ下ニ英國市場ニ入津シタナラバ我方對印輸出貿易上或ハ大ナル修正ヲ見ルデアラウ、恣心ニ堪エザルモノアリ。

本員駐在ノ地ラングーンハ印度ノ政治中心地ヨリ離レ其ノ動靜ヲ知ルニ余リニ不便デ難靴搔痒ノ感ヲ抱クモノデアル。本員ガ云フ迄モナイガ對策トシテハ既ニ決セリト思フ。

(一) 政治的ノ解決

(二) 實際的ノ解決

ノニツアルノミト思ハレル。(一)政治的ノ解決トハ日英並ニ日印間ニ締結セラレタル條約ニ照シテ今回ノ如キ極端ナル排戰的關係ヲ課スルコトハ

友誼ヲ尊重スル英國傳統的精神ニ果シテ添フモノナルガ否ヤ、印度產業ノ保護ノ目的ニ添フモノナルヤ如何、印度政府ノ財政ヲ救フ目的トナリ得タリヤ否ヤ

正々堂々彼ヲ糾彈シテ進ムベキコトデアルガコレ本員越權ノ次第デコレ以上云フコトヲ欲シナイ。

(二) 實際的ニ解決

スルトイフコトハ邦品ノ價格、販賣ノ統制ヲ徹底的ニ行フコト並ニ日印貿易關係業者邦人ト云ハズ邦品ヲ取扱フ者ニ對シテハ平等無差別ニ金融上ノ便宜ヲ附與スルコト機宜セバ政府ハ爲替銀行ニ命シテ邦品取扱商ニ對シテ英國其他ノ外國爲替銀行ガ與フル便宜ト同等或ハ以上ノリアシリテ附與セシムルコトデアル。

本員駐在ノビルマ・ラングーンニ於テハ日本ヨリ輸入スル商品ノ八割ハ

外國商社ノ手ヲ經由シテ行ハレテ居ル有様デ而シテ當地ノ外國商社タル輸入業者ト爲替銀行トハ必ズシモ融和シタル諸取引ガ行ハレテ居ルトハ云ヘ難イ否反對ノ事サヘ最近耳ニスルトコロデアアル。今日ノ如キ政治、經濟ニツナガラ安定ヲ缺クノ折柄寬嚴宜シキヲ得タル自裁ガ一般商人ニ望マレテキルガコハ善ク土地ノ事情得意先ノ信用狀態ヲ了解スル人ナラズデハ求メ難キハ勿論ノコトナルガ甚ダ遺憾トスルトコロデ、爲替相場モ他行ニ比シ常ニ高値ナリトノ不平サヘ聞クノデアアル。其間種々ナル事情ガアランモ到底經驗アル外國銀行家ニ對抗出來ヌ。

ビルマハ今ヤ多難ノ時代ニ入ツタ。六、七月ハ最モ銀行家ノ本領ヲ發揮スベキ時ダト思フ。金融業者ハ内外ノ大局ニ通曉シ克ク得意先ヲ善導シ嚴父ノ慈悲ヲ垂ルルベキデアアル。此ノ事日緬貿易上一ツノ大ナル力デアアル。此ノ際特ニ強調シテ置ク。

吾人ハ皇國ノ興廢ヲ背負ツテ日清日露ノ兩役ニ處シタ尊キ歴史ノ持主デアアルガコノ際同様ノ心懸ヲ以テ官民一致將ニ來ラントスルトコロノ日英貿易戰ニ参加セラレンコトヲ本員ノ熱望スルトコロ、自ラハ常ニ眞劍味ヲ有スル我が本省ノ鞭達命令ニ激勵セラレテキル。

紙ニ殉セントノ覺悟ハシテ居ルノデアアル。(完)

貿通第九七號

大場貿易通信員

英領印度關稅引上説ノ再燃ト對策 (續報)

本日確カナル筋ヨリ聞クトコロニ依レバ英國政府ハ四人ノ代表ヲ特ニラングーンニ派遣シ爾三日前當地ニ到着セリ極秘裡ニラングーン市場ニ於ケル邦品ピース、グーズヲ購入シ専門的智識ヲ以テ分解研究中、其ノ方法ヲ聞クニ邦品中最モ當市場ニ賣レルモノヲ見本のニ買入レ英本國ニ發送セリト、數ヶ月ノ後ニハ邦品ト何レノ點ニ有テモ特ニ價格ノ點ニ於テ同一ノモノ當市場ニ出現スベシ。當市場ニハ英品不買同盟モナケレバ價格安キモノ出現セバ必ズ英品ヲ購入スベシ。

ビルマハ不況ナリト雖モ金融上ノ便宜ヲ與フルナラバ長期貸賣モ行ハル、ベシ。貿通第九五號ノ情報ハ起草中具体化セラル、ニ至レリ、邦品ノ非常ナル決意ヲ要スル時ナ

リ。

次ニソビエツト、ロシヤノ商品ガ新嘉坡市場ヲ戰慄セシメツ、アル由ナルガ早クモ當市場ニ入津アラン、トノ報知アリ、當地輸入商ハ非常ニ警戒ヲ試ミツ、アリ今ヤ印度市場ハ容易ナラザル時代ニ入り又本員ハ非常ノ覺悟ヲ以テ調査ヲ遂行セン (完)

電信課長

大臣

次官

亞細亞 歐米 通商 條約 情報 文化 人事 文書 會計

寫送先

(分類E 3.1.2.XI-B5)

昭和6 一四三九一 平

シムラ 廿九日後發 本省 九月三十日後着

通

幣原外務大臣

第四七號

酒匂總領事

廿九日午後五時ヨリ財務長官ハ議會ニ於テ當國財政事情ニ關シ詳細ノ説明ヲナシタル後課稅法案提出ノ動議ヲナセルニ反對論強ク爲メニ同長官ヨリ該法案審議讀行ノ爲十一月月上旬臨時議會ヲ開クモ可ナル意嚮ナル旨言明シ採決ノ結果漸ク七時同案ノ上程ヲ見タリ關稅ニ關スル部分不取敢^左ノ通

一 原棉一封度ニ付六「バイ」ノ輸入稅ヲ課ス

二 機械類及染料ニ一割ノ輸入稅ヲ課ス

外務省

記録付
九月三十日
酒匂總領事
記

三 「ブラウンシュガー」ノ輸入稅ヲ一「ハンドレッドウェイト」ニ付七留比四安ニ増率ス

四 長靴及短靴ニ對スル輸入稅ヲ從價二割又ハ一足ニ付四安何レカ高キニ依ル事トス

五 人絹絲及織糸 (yarn and thread)ノ輸入稅ヲ從價一割五分ニ増率ス

六 人絹織物樟腦及電球ノ輸入稅ヲ從價四割ニ増率ス

七 從價二分五厘ヲ超ユル輸入稅率ニ對シ一律ニ二割五分ノ臨時附加稅ヲ課ス但シ前記一及二ニ對シテハ之ヲ課セス (即チ前記三乃至六ニ付テハ増率セラレタル輸入稅ノ上ニ本項附加稅ヲ課ス)

八 前記ノ關稅ハ一九三一年暫行徵稅條例ニ依リ即時實施セラルヘシ孟買、蘭貢へ轉電セリ

外務省

懸案
要寫一筆

（昭）内の六、商工
通信局省（一）記
其他（一）不要

大島

文書課長 公文書案

文書課發送 昭和六年拾月壹日 發送濟 淨書 正校(原稿) (淨書)

主 普通商局長 任第一課長 (起草昭和六年九月三日)

通一普 第三三一〇號 昭和 昭和六年拾月壹日 附 附屬書 通

件名 仰返一紙の回致改正
送付先 大島支社 農林事務 商工事務 通信管線 松務 税務 倉庫

本件ニ關シテ九月十九日附通一機密合第三〇九一號ヲ以テ申進置タル處
今般更ニ在在ルカクタレハ下 函付依付ヨリ別紙寫ノ通電報アリタル
ニ付御奉考右茲ニ送付ス

（昭和六年九月二十日） 附 カルカタ物 附 在日修了 來電第四七 號（並附屬書寫其修正通作添付ノコト）

公 信 案 外 務 省

1 22

懸案
要寫一筆

(昭) E3.1.2.4-8

文書課長 公文書案

文書課發送 昭和六年九月廿九日 發送濟 淨書 正校(原稿) (淨書)

主 普通商局長 任第一課長 (起草昭和六年九月二十八日)

通一機 第三三一〇號 昭和 昭和六年九月廿九日 附 附屬書 通

件名 仰返一紙の回致改正計
送付先 大島支社 農林事務 商工事務 通信管線 松務 税務 倉庫

本件ニ關シテ九月二十八日附通一機密合第三〇七二號ヲ以テ未取申進置タル處
今般更ニ在在ルカクタレハ下 函付依付ヨリ別紙寫ノ通電報アリタル
ニ付御奉考右茲ニ送付ス

（昭和六年九月二十日） 附 カルカタ物 附 在日修了 來電第四七 號（並附屬書寫其修正通作添付ノコト）

公 信 案 外 務 省

29 103

公 信 案

文書課長

文書課發送 昭和六年拾月壹日 發送済

淨書 (原稿)

別紙 (甲號用紙)

主 任 第一課長

正(原稿)

附屬書

機密 (年山代) 號 大正

昭和六年拾月壹日 附

通

受信 人名 依別表

發信 人名 藤村木俣

件名 (仰及之於个回国花改正)

級 込 名

在カルカタ(シラ)帶(在) 函句(依)了(日)別紙字

要寫一

9.2.4

E 3.1.2.4

公 信 案

外 務 省

号

一列紙(案)年(九月)三十日着在カルカタ 函句(依)了(日)別紙字
牙四七号(字)作(表)一(口)格(依)了(日)別紙字

公 信 案

外 務 省

寫

外務大臣宛

二十九年十月五日 東京

在ルロコト(シムラ)ノ下

酒匂他(他)ノ電

当国財政事情ニ関シテ詳細ノ説明ヲ為シタル

後課税提案提出ノ郵便ヲテモ之ニ反対論

公 信 案

外 務 省

長 仁 人 名

✓ 上甲 横濱 船 出 船 和 左 黄 池 合 組 長 ✓

✓ 油 井 神 戶 " " ✓

✓ 阪 神 大 口 車 船 結 聯 合 會 長 ✓

✓ 伊 藤 船 出 綿 糸 布 同 業 會 長 ✓

✓ 藤 田 口 車 船 出 綿 織 物 同 業 連 合 會 長 ✓

✓ 柳 井 高 商 工 會 議 所 會 理 ✓

✓ 井 限 横 濱 " " ✓

✓ 藤 田 大 阪 " " ✓

✓ 岡 崎 神 戶 " " ✓

✓ 伊 藤 名 長 尾 " " ✓

公 信 案

外 務 省

除々為之同長官ヨリ該法案高議總行ノ為十
一月上旬臨時議會ヲ開ク又可ナル旨言ルニ掃決
ノ結果漸ク七時同案ノ上程ヲ見タリ同稅ニ對
スル新案不再取敢テノ通電報ス

一、原棉一担之ニ付六バシノ輸入稅ヲ課ス

二、機械類及染料ニ一割ノ輸入稅ヲ課ス

三、ガラス、シネカー、ノ輸入稅ヲ一ハントレフトウエイト

公 信 案
外 務 省

ニ付七角比四安ニ増率ス

四、長靴及短靴ニ付スル輸入稅ヲ從價ニ割又ハ一

足ニ付四安何レカ者中ニ依ルニトス

五、人絹糸及織糸 (yarn and thread) ノ輸入稅ヲ從

價一割五分ニ増率ス

六、人絹織物、樟腦及霞珠ノ輸入稅ヲ從價

四割ニ増率ス

公 信 案
外 務 省

（案）E 3. 1. 2. XI-136

海外經濟事情掲載
昭和6年11月9日
第4年第45

海外經濟事情

第二課



普通公第一六七號
昭和六年十月二日
在リヴプール
領事函本一葉

外務大臣男爵幣原喜重郎殿

印度関稅再引揚ト、ランカヤ、ノ樂論
ニ関スル件

カンガ、ノ田卓會議參列ヲ好機トシテ英國綿
製品、非買運動停止及関稅引下^下華、英國
品ニ對スル新優先權附與方ニ関シ狂奔中ノ
折極^極昨十九日印交政府、^{（案）}

商局長

第一課

昭和六年拾月廿壹日接受

郵件名

各國關稅並法規關係

公 信 案

外 務 省

七、從價ニカスモノヲ起スル輸入税率ニ對シ一律ニ
ニ割五分ノ臨時附加稅ヲ課ス但シ前記一及
ニニ對シテハ之ヲ課セズ（即チ前記ニ乃至六
ニ付テハ増率セラヌル輸入稅ノ上ニテ改附加
稅ヲ課ス）
八、前記ノ國稅ハ一九三一年ノ暫行徵稅例ニ依リ
即^時施行施セラルベシ

389

輸費増進ヲ從スヤ否ヤハ甚ク疑問ナリ。
 地方内國製綿布品ハ消費税ノ再賦課ヨ
 リ除外セラレタルガ如キニ印度工場主ハ機械及
 染料ニ對スル一割及原棉ニ對スル一割度^半
 引ナレ、新課税設定ニ因リ等ク多大ノ打撃
 ヲ蒙ル結果トナルベシ印度、原棉輸入額ハ一九
 三〇年度ニ於テ二万三千九百八十噸ニテ、一九三一年
 度^{本年}七月三十一日ニ終ル一年ニハ五萬八千四百六十
 四噸ニ増加シ居レリ、斯ノ如ク輸入額逐年増
 加ノ著シキモノアルニ鑑ミ、今因ノ新税ニ因ル打撃
 ノ程度推シテ知ルキノミ、而シテ右ハ延テ優良
 原棉、輸入ヲ妨ガル結果、印度内高級綿布
 品製造上一障礙ヲ興フルコト、ナルベシ。

CII

388

George S. S. (S. S. S.) 蔵相ノシムラニ於テ聲明セル
 國稅再引揚ノ報ニ接シ、ラシカシ、綿業界ニ
 於テハ更ニ新ナル、セシモノヲ惹起セル模柁
 ナルガ、右國稅引~~揚~~ニ伴フ直接影響、因シ、
 マンケスター、カーティン、紙ハ大要九ノ記事ヲ揭
 ケ居レリ。
 印度新豫算案トシテ報セラル、處ニ依ル綿
 絲ハ從價五分ヨリ六分ニ墮五毛ニ、英國製綿
 及物類ハ二割ヨリ一割五分、英國製以外ノ同種
 品ハ二割五分ヨリ三割一分ニ墮五毛ニ夫々^{引揚}
 スラル、モノハ如シ、斯ノ如ク高率綿布國稅、
 下ニ於テ例^々英國製品ニ對シ、幾何カノ特
 惠ヲ附與シ居ルト雖、之ヲ以テ直ニ、ラシカシ、

CII

390

然レトモ之ガ考メ外國高級綿布ノ輸入ヲ
 増加スルヤ否ヤハ直ニ断言シ難キモ、國內手紡
 手機業ノ一割戦削トナルハ疑ハ餘地ナシ、蓋シ
 ランカシヤノ見地ヨリシテ最メ重大ナル問題
 ハ新税ノ結果スル處ガ印及日本製品
 トノ競争上有利ナリヤ否ヤ將又手紡手
 機ハ輸入品及内國機械製品ト對抗ニ得
 ルヤ否ヤノ点ナリ。

猶日本ハ輸入税率我入國ニ比シ更ニ高率
 ナルノミナラス、全本位維持等ノ關係ヨリ其ノ
 打撃手邊入ニ大ナルノアルハシキ也。

相何等事御参考有宜ニ報告申進ス

本信子送附先、在英大使、

通商局

公信第一八四號

昭和六年十月五日

シムラ 滞在中

總領事 酒匂 秀

外務大臣男爵幣原喜重郎殿

新関税法關稅告示送付件

本年九月三十日ヨリ條件付ニテ實施ヲ見ルニ至レ
 ル新関税法ニ對スルハ五日附在、カカタ 税関告示
 何等事参考送別紙、通リ一部送付ス

英領事

各國關稅並法規關係
昭和六年十月十八日接受

E3.1.2.XI-185

在カルカタ日本總領事館

Correction List No. _____ to the Indian Tariff Guide.

Departmental Supplement.

Slip No.

Page 36.

Item 120/156A.

In para. V, make the following amendments :-

- (i) In the heading omit the words "artificial silk or".
- (ii) In para. 2, omit the words "or artificial silk" in both places where they occur in the first sentence.
- (iii) In para. 2, for the words "artificial silk" occurring in the second sentence, substitute the word "wool".
- (iv) In para. 3, omit the words "or artificial silk".
- (v) In para. 4, for the words "(except silk)" substitute "(except silk or artificial silk)".

Slip No.

Page 36.

Item 125/45A.

For the word "silk" wherever it occurs, substitute the words "silk or artificial silk".

Slip No.

Page 36.

Item 126/133.

For the word "silk" substitute the words "silk or artificial silk".

Correction List No. _____ to the Indian Tariff Guide.

Slip No. _____

Page 14

Item 59/65.

In para. 1, for the word "silk" wherever it occurs, substitute the words "silk or artificial silk".

Slip No. _____

Page 82

Item 200/45G1.

In para. 5, for the word "silk" substitute the words "silk or artificial silk".

Slip No. _____

Page 84

Item 124/45A.

For the word "silk" wherever it occurs, substitute the words "silk or artificial silk" and for "word" substitute "words".

Slip No. _____

Page 85

Item 126/45.

(i) In the heading, for the words "Silk piece-goods, etc." substitute "Silk or artificial silk piece-goods, etc."

(ii) Delete para. 1 and re-number para. 2 as para. 1.

(iii) In para. 1 as now re-numbered, for the word "silk" in the heading and in the ruling, substitute the words "silk or artificial silk".

Slip No. _____

Page 98

Item 174/422.

For the word "silk" wherever it occurs, substitute the words "silk or artificial silk".

	Present rate.	New rate without surcharge of one-fourth.	New rate with surcharge of one-fourth.
Gamphor	15% + 5%	30% + 10%	50%
Electric Bulbs	15% + 5%	30% + 10%	50%

3. As in the example of boots and shoes quoted above, where the tariff prescribes a minimum specific duty, e.g., for cotton yarn and certain protected iron and steel, the addition of one-fourth is to be applied to both alternatives. The effect is the same as making the assessment at existing rates and applying the surcharge to the result. In a few cases it results in unwieldy fractions, e.g., $3\frac{3}{4}\%$ on silk or artificial silk mixtures. Collectors will decide whether or not it will be more convenient in practice to show the additional one-fourth separately in the duty columns of bills-of-entry.

4. The basic rate of currents has been reduced, under an obligation to Greece, so as to give the existing rate when the surcharge is added. The surcharge of one-fourth is being applied to all the principal General taxes except export duties, and the 2% import duties. The latter include two items in respect of which there are international obligations.

5. Advance copies are enclosed of amendments that it is proposed to make in the Tariff Guide, owing to artificial silk having been put on the same footing as silk.

6. The peculiar proviso that only one addition shall be made to the salt duty, does not imply that the additional duty on non-Aden salt shall not be enhanced. It was necessary because the Tariff Act prescribes that the duty shall be the same as the excise duty, which is itself being increased by one-fourth, and is designed to avoid a second addition of one-fourth on the import duty. Thus the rate on salt from Aden will be Rs. 1/4/- plus 5 annas, i.e., Rs. 1/9/- and on salt from other foreign sources Rs. 1/8/- plus 6 annas, i.e., Rs. 1/14/-.

NOTE ON EMERGENCY FINANCE BILL.

So far as Customs duties are concerned, there are four important points to be noted:-

(a) No change is made in the rates of any export duty, or in any duty leviable under Part III of the Import Schedule (goods liable to duty at 2 1/2% ad valorem)

Clause 2(1) (b) Certain specific changes have been made in the rates on particular articles.

Clause 3(2) (c) The surcharges imposed by the Finance Act of 1931 on articles in Parts IV, V and VI of the Import Schedule will apply to articles newly transferred to those Parts except for machinery and glass which are specifically exempted from the existing surcharge.

Clause 4. (d) A further additional levy of one-fourth of the duty leviable is made on all import duties chargeable under any Act, other than duties leviable at 2 1/2% under Part III of the Import Schedule to the Tariff Act, but including duties imposed or modified under the specific provisions of this Bill, and including the import duty and additional import duty on salt.

2. In order that there may be no doubt as to the effect of the changes, the actual rates of duty to be levied on articles for which the basic rates have been changed is given below.

	Present rate.	New rate without surcharge of one-fourth.	New rate with surcharge of one-fourth.
Cotton, raw	Free	Free	5/8 anna per lb.
Dyes	Free	10%	12 1/2%
Machinery	Free	10%	12 1/2%
Currents	Rs. 1/4 - per cwt.	Rs. 1/4 - per cwt.	Rs. 1/4 - per cwt.
Brown Sugar	Rs. 6/12 - "	Rs. 7/4 - "	Rs. 9/1 - "
Artificial Silk	7 1/2% + 2 1/2%	12 1/2% + 2 1/2%	18 3/4%
Artificial Silk mixtures.	15% + 5%	20% + 7 1/2%	34 3/4%
Artificial Silk piece-goods and other manufactures.	15% + 5%	30% + 10%	50%
Foots and Shoes.	15% + 5%	20% or 4 annas per pair which ever is the higher.	25% or 5 annas per pair whichever is the higher.

A
B I L E
to

Supplement the Indian Finance Act, 1931, and to extend the operation of certain of its provisions.

X X X X X X X X X X X

3. (1) The amendments specified in Part I of

Amendment of the Second Schedules }
to the Indian Tariff Act, 1894, } Schedule I to this
and the Indian Finance Act, 1931. } Act shall be made in

Schedule II to the Indian Tariff Act, 1894.

(2) The amendment specified in Part II of Schedule I
to this Act shall be made in Schedule II to the Indian Finance Act, 1931.

4 Where any goods chargeable with a duty of Customs under
Additional Customs } Part II, Part IV, Part V, Part VI or
duties. } Part VII of Schedule II to the Indian Tariff Act, 1894, as amended by
section 2, or under any of the said Parts read with any other enactment
or with any notification of the Governor General in Council for the
time being in force, are assessed to duty, there shall be levied and
collected as an addition to and in the same manner as the total amount
so chargeable, a sum equal to one quarter of such total amount.

Provided that salt chargeable with duty under item
No. 35 of the said Part II shall not be liable to two such addition
of duty.

E R R A T U M.

Duty on non-Aden foreign salt.

In "NOTE ON EMERGENCY FINANCE BILL" Paragraph 6 of Explanatory
note Rs. 1/14⁵ annas should be substituted for Rs. 1/14 annas.

Calcutta Custom House,

M. SLADE,

The 30th September 1931.

OFFG. COLLECTOR OF CUSTOMS.

Part VII of Schedule II to the Indian Tariff Act, 1894, as amended by
section 2, or under any of the said Parts read with any other enactment
or with any notification of the Governor General in Council for the
time being in force, are assessed to duty, there shall be levied and
collected as an addition to and in the same manner as the total amount
so chargeable, a sum equal to one quarter of such total amount.

Provided that salt chargeable with duty under item
No. 35 of the said Part III shall not be liable to two such addition
of duty.

要寫部

分類 E3.1.2.4-8

文書課發送	昭和六年拾月五日	發送済	淨書	校(原稿)	淨書
管主	通商局長	任主	第一課長	(起草照租)	昭和六年拾月五日
通一機	第三一五一	號	照租	昭和六年拾月五日	日附
受信	大藏主稅局長	農務局長	林務局長	工務局長	商船局長
人	拓務局長	逓信局長	通商局長	海關局長	陸軍局長
件名	印夜ニ送ケル國稅改正	名	武為通商局長	逓信局長	海關局長
本件ニ關シ	昭和六年十月一日附通一機	第三一五一	號ヲ以テ	未敢取申進置タル處	ヨリ別紙寫ノ通電報アリタル
今般更ニ在	ケルヲ(シム三階在連)	酒司總攷事	ニ付審御奉考右送ニ送付ス		
本信寫送付先	大藏主稅局長	農務局長	商船局長	海關局長	逓信局長
(昭和六年十月二日)	着在	酒司總攷事	來電	第四八	號並附屬書寫其修正通電報添付ノコト

公信案

外務省

文書課長

公信案

別紙

(甲號用紙)

5 78

電送第 10728 號
 昭和六年十月五日 發 6時15分發

電信課長	佐久
管主	通商局長
任主	第一課長
件	印夜ニ送ケル國稅改正
宛	在シム三
暗	第二三號
貴電	十月九日以前ニ送付
案	案ハ議合ヲ通過セザルカ又ハ通過スルニ
外務省	十月十日以内ニ送付
	成事ト事サハル時
	抄テ
	了セ

電信課長

電信案

別紙

(原議用紙甲)

3.2

了セ 抄テ 了セ

秘

電信寫

幣原外務大臣宛

第四八號

往電第四七號ニ關シ

財務長官ノ演說中重ナル點左ノ通

一 本年度收入不足額ハ約一億九千五百萬留比ニ上ルヘク又目下ノ情勢ヨリ推セハ本年度モ大略同額ノ不足ヲ見ルヘシ故ニ財政ノ安固ヲ計ラントセハ來年度ヲモ包含スル計畫ヲ立テサルヲ得ス政府ハ行政及軍事費ノ節約減俸及増稅ニ依リ二ケ年ニ亘ル不足ヲ十八ヶ月間ニ於テ補填センコトヲ期ス

一 節約ニ付テハ委員會ノ事業未了ナルモ行政費ニ於テ二千八百八萬軍事費ニ於テ四千五百萬ノ節約ヲ行ヒ得ヘキ見込ナリ減俸ニ付テハ總督ノ二割行政部長官ノ一割五分ヲ例外トシ月給四十留比以上ニ對シ一割ヲ超エサル程度トスヘク之ニ依リ官吏ニ付一千五百萬軍人ニ付一千萬ヲ節減シ得ヘシ

一 増稅ニ付テハ輸入稅以外ノ總テノ現行稅金ニ對シ一律ニ二割五分ノ非常附加稅ヲ課シ所得稅ノ免稅點ヲ引下ケ又或ル品物ニ對シ關稅ノ引上ケ及新關稅ノ設定ヲ提議ス新關稅中原棉ノ輸入稅ニ付テハ紡績業者ヨリ兎角ノ批評ヲ受クヘキモ右ハ收入ノ必要ニ出テタルモノナルト共ニ輸入綿製品ノ關稅カ四分ノ一増率セラルヘキニ鑑ミ不公平ノモノナラサルヘシ之等關稅費徵ニ依リ一億四千五百七十萬ノ増

大正十一年十月二日 敕諭

在、P. 125. 酒匂總領事 宛電

收ヲ豫見ス尙内國郵税ノ五割増ヲ提議ス、
四以上ノ措置ヲ講ストセハ本年度不足額ハ一億百七十萬ナルモ來年
度ハ五千二百三十萬ノ歳入超過トナルヘシ而シテ十八ヶ月間ニ約三
億四千百萬ノ豫算改善ヲ見ルヘキニ鑑ミ來々年度ノ豫算編成ノ際ニ
ハ約五千二百萬ノ歳入剩餘ヲ存スルモノトモ觀測シ得ヘク從テ前記
臨時的諸課税及減俸ハ一千九百三十三年三月以降ニ及ホスノ必要ナ
キモノト信セサルヲ得ス
其、並買、蘭賣ハ郵送セリ

文書課長
公信案

別紙

(甲號用紙)

75

文書課發送 昭和六年拾月七日 發送済

淨書

正校(原稿)

(淨書)

6記

主管 文書課長 (起草收受年月日)

普通第一(平信) 號 大正 昭和六年拾月六日 附

附屬書 通

受信

人名 阿部百太郎後藤月房長

發信

人名 武富通商局長

件名

印及之於之國稅改正

綴込名

お修 阿部百太郎後藤月房長

月一日取掛信より于申進呈候意今綴

在ルル口タレシラ滞在中(酒司他事)ヨリ別

公信案

外務省

分類 E3.1.2.X-B5

紙字一通覽 校報
付候 敬具

追了財局甲号の機密扱ト外部ノ系

表のT中後)差控お成方右為念ト指し

(昭和六年)自三日着不ルル酒司他事(申進)

(五号)大人字作表添紙ノ上)

公信案

外務省

E-1190

電信課長

大臣

次官

亞細亞

歐米

通商

條約

情報

文化

人事

文書

會計

寫送先

昭和6 一五〇一四 暗

シムラ 六日後發
本省 十月六日後着

通

幣原外務大臣

第五二號

貴電第二三號ニ關シ

印度總督ハ Veto ノミナラス議會ノ否決セル法案ヲ certify シテ直ニ法律タラシムルノ權能ヲ有ス從テ徵稅法ノ趣旨ハ六十日以内ニ課稅法案カ修正セラレテ法律トナルカ又ハ法律タルニ必要ナル手續全カラサルトキ即チ議會ヲ通過セス且總督モ「サーテイファイ」セサルトキハ相當額ノ拂戻ヲ爲スト云フニアリ

外務省

分類 E3.1.2.XI-B55

公信案

別紙

(原議用紙甲)

文書課發送 昭和六年拾月七日 發送濟

主 管通商局長

主 任第一課長

通一書 第三一七

昭和六年拾月六日

日附 附屬書 通

受信 青木大藏

人名 武高通商局長

件名 郵務進後管帳

E 3.1.2.XI-B55

懸案

要部

公信案

外務省

電信寫

高

密原外務大臣宛

第四九號

癸卯年十月三日 後着

在ルロコシテ(酒匂總領事宛)

往貴國七條ニ關シ

課稅法案(八十一月ニ臨時議會)ヲ開キ審議セラルルコトトナレリ

案中關稅ニ關スルキハ改稅法ニ依リ該法案上程ノ翌日タル三十日

ヨリ實施セラレタリ

ル時ハ拂東アルハキ規定ナリ

該法案殊ニ所得稅ニ關スルモノニ付テハ反對論ヲ起シ

下事ハ亦ニ關スル修正案ニ付テハ關稅ニ關シテモ多少ノ變更アルヘシ

ト觀測シ又關稅ニ關スル政府原案カ律第五〇號ノ一ノ程度ニ止マ

リシコトニ付テハ審法問題解決前ニ帝國特惠ヲ認ムルコトニ反對シ

ルレル全印商工會議所聯合會等ハ態度ニ對スル氣兼アルヘシトノ

コトニテ右ハ政府カ第二次圓卓會議代表ニ付同會ノ要望ヲ容レ最近

同會側ノ者二名ヲ追加セル事實ニ依リテモ推セラレルヘク從テ課稅法

案修正ノ場合此上英國ヲ利スルカ如キ變(加)ルコト萬無カ

ヘシト觀測シ居レリ

英 孟買 南東へ贈送セリ

直三

表

海外事務局長

幣原外務大臣宛

第五〇號

往電第四九號キ編シ

略

ヤトカ

イナ

十月三日前着

在りのラ、
酒匂總領事宛

通

電信寫

一、附加税二割五分ニ依リ綿布ノ對英特惠ハ一分二厘五毛ヲ増シタル
 コトトナリ又日本租布ノ税金ハ從價ニ直シ約三割五分トナリ夫レ
 丈英印品ヲ利スヘキ處棉花輸入税從價約一割ノ新設ハ夫レ丈ケ一
 マンチエスター一品ニ對スル印度品ノ競争力ヲ弱クシ又國內手織
 綿布ヲ利スルコトトナレリ

二、爲替變動以來綿布ハ一割高トナリ原棉亦一割方騰貴セリ英國品ハ

約五分ノ値上リニ過キサルモ反英氣分強ク實需ノ増加ハ多ク期待
 セラレス本邦綿布ハ一割五分ヨリ二割方高騰セルカ爲替下落二割
 ト見ルモ英國品ニ對スル不利ハ一割見當ナルヘク而シテ原棉買付
 ニハ紡績ノ資力等ノ點ニ於テ我方有利ナル點モアリ新税法ニ依リ
 更ニ六分二厘五毛ノ負擔増加トナリ從價品税率ハ三割一分二厘五
 毛トナレルモ財界安定セハ相當市場ヲ回復スル見込アルカ如シ
 四人絹課税ハ現行ヨリ三割高トナリ爲替低落二割ト見テ約五割ノ負
 擔増加トナルモ國內品無ク伊太(利)品亦同様ノ負擔ニ付一部ノ
 需要ヲ綿布ニ代ヘラルル虞アルモ本邦原價ノ如何ニ依リ相當ノ需
 要ヲ繁キ得ヘシ

五、靴ハ舊税一足ニ付約二安ナリシモノ~~五~~安トナレルモ他ニ競争者無
 ク市價ノ關係上本邦品ノ輸入ニ付尙相當ノ餘地アルカ如シ

英、孟買、南貢へ郵報セリ

幣原外務大臣宛

略

西曆一千九百二十年十月三日 附着

在のルカタ(シマ) 酒匂總領事 宛

第五〇號

往電第四九號ニ關シ

一、附加税二割五分ニ依リ綿布ノ對英特惠ハ一分二厘五毛ヲ増シタルコトトナリ又日本租布ノ税金ハ從價ニ直シ約三割五分トナリ夫レ丈英印品ヲ利スヘキ處棉花輸入稅從價約一割ノ新設ハ夫レ丈ケ一マンチエスター一品ニ對スル印度品ノ競爭力ヲ弱クシ又國內手織綿布ヲ利スルコトトナレリ

二、爲替變動以來綿布ハ一割高トナリ原棉亦一割方騰貴セリ英國品ハ

電信寫

約五分ノ値上リニ過キサシモ反英氣分強ク需^ハ增加ハ多ク期待セラレス本邦綿布ハ一割五分ヨリ二割方高騰セルカ爲替下落二割ト見ルモ英國品ニ對スル不利ハ一割見當ナルヘク而シテ原棉買付ニハ紡績ノ資力等ノ點ニ於テ我方有利ナル點モアリ新稅法ニ依リ更ニ^六分二厘五毛ノ負擔增加トナリ從價品稅率ハ三割一分二厘五毛トナレルモ財界安定セハ相當市場ヲ回復スル見込アルカ如シ

四、人絹課税ハ現行ヨリ三割高トナリ爲替低落二割ト見テ約五割ノ負擔增加トナルモ國內品無ク伊太^ル利^ル品亦同様ノ負擔ニ付一部ノ需要ヲ綿布ニ代ヘラルル虞アルモ本邦原價ノ如何ニ依リ相當ノ需^要ヲ繁キ得ヘシ

五、靴ハ舊稅一足ニ付約二安ナリシモノ^五安トナレルモ他ニ競争者無ク市價ノ關係上本邦品ノ輸入ニ付尙相當ノ餘地アルカ如シ

英、孟買、兩直ハ郵報セリ

通商局長

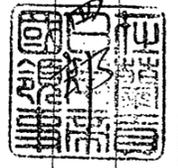
蘭貢第二一號第一報

昭和六年十月八日

昭和六年十月五日 接受

在蘭貢

領事館事務代理加納



外務大臣男爵 齋藤實重郎殿

為替率、激変、新規輸入附加税實施、
 日本品輸入ニ対シ絶望的打撃ヲ云々報書件
 去月二十日英國政府、金輸出再禁止發表以來
 印貨ノ崩落ハ直々ニ圓價ノ奔騰トナリ、揚子加
 ハテ同月三十日ヨリ實施ヲ見タシ印度輸入ノ税
 ノ増徴ニ依リ先ツ我カ重要貿易品名綿製

E-31.2.41-B5

商 移

品ニ対シ差敷的打撃ヲ見ルニ為替率ノ値
 上ノ約ニ割八分新規定ノ輸入附加税六分
 ニ厘五毛ニテ騰貴率計ニ割四分ニ厘五毛
 トナレリ然レニ當地當業者等ノ相場ハ從前ノ
 強ニト變改ラズ他方内地綿製品相場ノ値
 下リ約一割五分見當ナリトコトヲ以テ差引
 一割九分ニ厘五毛トナリ目下ノ採算不可能ナ
 ル類ナリ相対見ニ附加税ノ増徴ハ内地
 相場ノ値下リニ依リ相殺ニ得ヘトスルニ為替率
 高騰ガ本邦品ノ輸入ヲ絶望的ニ阻害シ居
 ル次第ナリ今後英印比率ハ尙茲迄六
 片ヲ維持シ方日印為替ガ昨年ノ百七十六
 畧比ヲ持續スル所ノ本邦綿製品ノ輸入ハ

要稿
郵
(分類E3.1.2.81-35)

文書課發送 昭和六年拾月九日 發送済 文書課長 (宛)		別紙 (甲號用紙) 淨書 (校原稿) (淨書)	
主 管 通商局長 第一課長 (起算日) 昭和六年十月七日		主 任 武富田高平 長	
受信 下阪市中之島山崎町 人名 武富田高平 長		發信 武富田高平 長	
件名 印税と紙税の改正 送達 郵政省 庶務課長		綴者 武富田高平 長 名 武富田高平 長	
普通第一(半)の信 號 大正 昭和六年拾月八日附 附屬書 通			

公信案
 更、在ルルカヲ(レ)シテ(中)酒匂總他(リ)ヨリ
 月言以括後(リ)以(中)進呈候是(中)今般
 外務省

全然輸入可能、見込ナク反対ニシテ(シヤ)制衣
 品、更生上絶好ノ機会ナリ(シヤ)ト(シヤ)ト(シヤ)ト
 七(シヤ)ト(シヤ)ト(シヤ)ト(シヤ)ト(シヤ)ト(シヤ)ト
 以下日印貿易ヲ考テ(シヤ)ト(シヤ)ト(シヤ)ト(シヤ)ト
 猶ホ今回ノ税率増徴(シヤ)ト(シヤ)ト(シヤ)ト(シヤ)ト
 織物ノ五割(シヤ)ト(シヤ)ト(シヤ)ト(シヤ)ト(シヤ)ト
 (シヤ)ト(シヤ)ト(シヤ)ト(シヤ)ト(シヤ)ト(シヤ)ト
 得(シヤ)ト(シヤ)ト(シヤ)ト(シヤ)ト(シヤ)ト(シヤ)ト
 製織ノ勃興(シヤ)ト(シヤ)ト(シヤ)ト(シヤ)ト(シヤ)ト
 度製品今後市場(シヤ)ト(シヤ)ト(シヤ)ト(シヤ)ト
 豫想(シヤ)ト(シヤ)ト(シヤ)ト(シヤ)ト(シヤ)ト
 右報告申進ス

懸案

要案一部

E3.1.2.8-135

公文書課長 文書課發送 昭和六年拾月九日 發送濟 淨書 正(原稿) (淨書)	主 通商局長 任第一課長 (起華昭和六年十月七日)	通 普通 三九 號 昭和 昭和六年拾月八日附	受 信 立石商工 人名 商工 通商局長	件 名 仰友之社 之件	發 信 人名 武富通商局長	綴 込 名
	本件ニ關シテ十月八日附通一機密合第三一七一號ヲ以テ申進置タル處 今般(更ニ)在カルタ(シラ階在下)酒司此(修)ヨリ別紙寫ノ通電報アリタル ニ付希御參考右茲ニ送付ス	本信寫送付先申大宛之宛商工受分、送信管無各了	(昭和六年十月十日着在カルタ來電第五二號(並附屬書)寫其修正通リ作成添付ノコト)	外務省	外務省	外務省

文書課長

公文書案

別紙

原議用紙甲ナ

8 49

公文書案

外務省

別紙字ノ通電報有之候條右様一及送
付候新長

(別紙昭和六年十月十日着在カルタ酒司此(修)ヨリ來
電第五二號)主信製階(修)ノコト)

秘

電信寫

留原外務大臣宛

第五二號

明治三十二年十月六日

在印領事館
酒匂總領事宛

車馬券二三號ニ關シ

議會通過ノ法案ヲ打下シ

印度總督ハ議會ノ否決セル法案ヲ直ニ法律

律タラシムルノ權能ヲ有ス

トカ修正セラレテ法律トナルカ又ハ法律タルニ必要ナル手續

サルキ即チ議會ヲ通過セス且總督モ「サーティファイ」セザルト

キハ相違アリ

相違アリ

コトナリ

00033

二九六 ガイム
ニ〇一 コウヘ 一九八七 コモ、ニ

ガイムシヨウ
タケトミツウシヨウキヨク 2076 ヨウ

九ツキミ〇ビインド カンセ イヒキアケ ノケツカカ
ルカツタホセ イサ イコノタスウヤズモノゴ ムグ
ツノゴ トキハコレカ ヒキワタシニゲ シカノニハ
イイシ ヨウノカンセ イマシハラワサルヘ カラサ



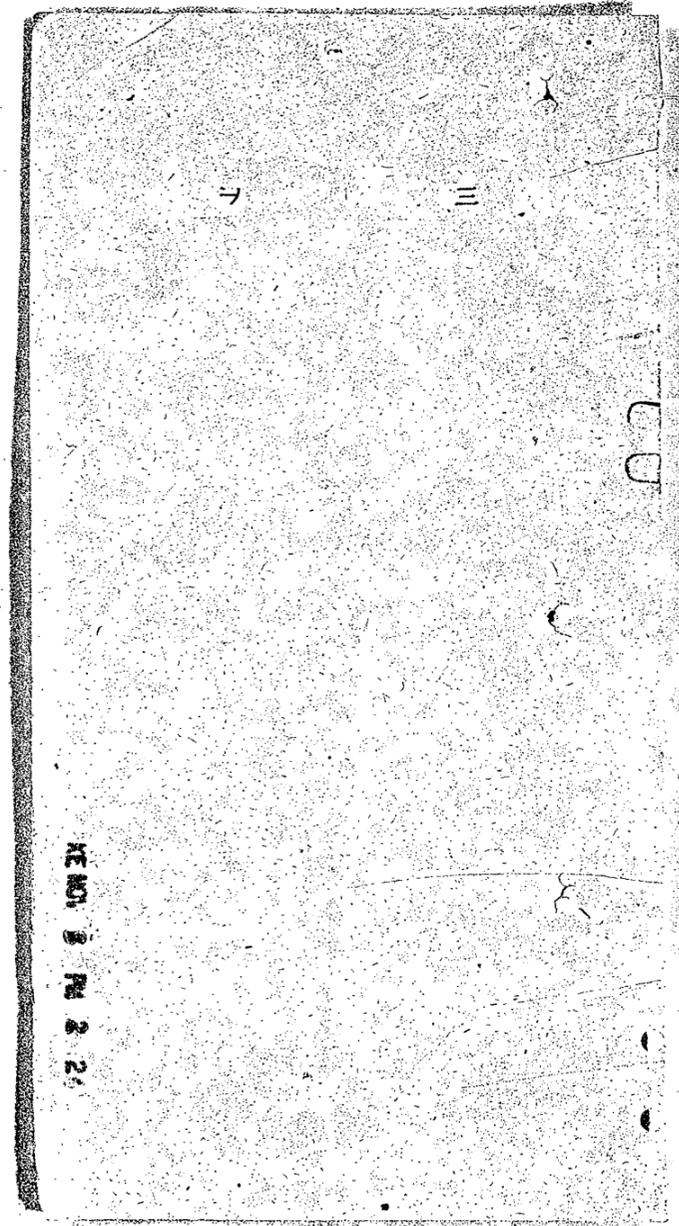
KENOV 5 PM 2 26

1337

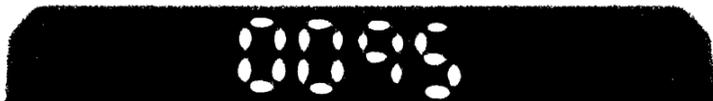
ニ

ルキウシ ヨウニアリヨツテシ ツシセ ンツミタ
シヒンニタイシテハカイセイカンセ イノサイテイリツ
ヲチキヨウサルルヤウゴ シ ンリヨクヲネカ ウカ
ウヘ セウコウカイキ シヨカイトウオカサ キタタ

E-1190



E-1190



電送第 14289 號
 昭和 6 年 11 月 8 日 啓 6 時 10 分 發

電信課長	平	宛	件	管主
	第 1 號	岡崎神戸商工會議所 發 武富通商局長	印 為 呈 稅 取 函 云 云 綴 込 名	通商局長 任 第一課長 (起 昭和 6 年 11 月 9 日) 七
電信案				電信課長
外務省				

黄電 1 本 呈 上
 御 未 着 1 件 交 湯 一 兄 込
 取 出 函 中 若 松 商 務 書 記 官 ヨリ 聴 取
 了 了 夕 夕

3.2

寫

電送第 14283 号
 昭和 6 年 11 月 5 日 啓 6 時 10 分 發

電信課長	平	宛	件	管主
	第 1 號	岡崎神戸商工會議所 發 武富通商局長	印 為 呈 稅 取 函 云 云 綴 込 名	通商局長 任 第一課長 (起 昭和 6 年 11 月 9 日) 七
電信案				電信課長
外務省				

黄電 1 件 下 遺 徳 文 湯 一 兄 込 夕 夕
 取 出 函 中 若 松 商 務 官 ヲリ 聴
 了 了 夕 夕

3.2

E-1190

第一課長

高野

新税率
夏ニ付四ケタ
後便ニ〇%
旧税率
恒價ニ〇%

武高逋高多老花
神戸高工合議所會致
九月三十日印友國稅引上ケ、結果カルクタ
保稅在庫ノ多敷安物護護靴ノ如キハ
之カ引後ニ原價ノ二倍以上ノ國稅ヲ支拂
ハサルヘカウサルヤ形狀ニ在リ依テ其後施行積出
品ニ對シテハ改テ國稅ノ最低率ヲ適用
サル、様、由、若カ、ヲ、致、ス、

(原議用紙乙)

電信課長
大臣
次官
亞細亞
歐米
通商
條約
情報
文化
人事
文書
會計

電信課長

外務省

各國關稅法規關係
印之ノ部

電信課長

大臣

次官

亞細亞

歐米

通商

條約

情報

文化

人事

文書

會計

寫送先

分類 E3.1.2.XI-AJ-

昭和6 一九三三〇 暗 十三日後發
德里 本省 十一月十四日前着 通

幣原外務大臣

第六二號

往電第四九號ニ關シ

臨時議會ハ四日以來課稅法案ノ討議中ナルカ議會書記官長ヨリ内示
ヲ受ケタル所ニ依レハ下院提出修正案既ニ百二十七、内三十四ハ關
稅ニ關シ其重ナルモノハ(一)原棉輸入稅撤廢案八(二)機械輸入稅撤廢案
十五(三)關稅附加稅撤廢案二(四)人絹絲輸入稅ヲ從價二割五分ニ引上ケ
ントスルモノ一(五)生絲絹織物人絹絲及織物並ニ之等ノ交織物輸入稅
ヲ十割ニ引上ケントスルモノ一(六)靴輸入稅各四割又ハ一足ニ付八安

外務省

E-1190

ニ引上ケントスルモノ一(七)原棉染料及機械ニモ附課税ヲ賦課セント
スルモノ三(八)樟腦輸入税ヲ舊率ノ儘据置カントスルモノ一ニシテ綿
絲布ニ關スルモノナシ右(四)及(六)ニ付テハ議會通過ノ如何ヲ問ハス政
府ハ郵税其他ノ修正ニ依リ歳入不足ヲ補フ爲後ニ述フル修正課税法
案作成ニ當リ之等ヲ採用スル虞ナキニ非スト認メラルルモ下院議長
政府議員其他要人ノ觀測ヲ聞クニ議會通過ノ可能性アルハ(二)及(一)ノ
ミニシテ政府ハ關税ニ付テハ若シ之等カ通過セハ之等ト商務長官提
出修正案(印刷用「インキ」輸入税ヲ從價八分トス)トヲ考慮シ又
所得税其他ニ關スル修正案ニ付テハ假ニ議會ヲ通過ストモ之等ヲ考
慮セスシテ唯郵税引上率ノミヲ低減スルコトトシ此趣旨ニ依リ別ニ
修正財政法案ヲ作成シテ議會ニ提出シ之カ議會通過ニ努メ不通過ノ

外務省

場合ニ於テ總督ニ於テ之ヲ「サーティファイ」スヘク從テ(三)乃至(六)
ノ如キハ到底議會モ通過セサルヘク又政府ノ修正案ニモ採用セラレ
サルヘシトノコトナリ
孟買、蘭貢ニ轉電シ、英ニ暗送セリ

外務省

文書課長

公 信 案

文書課發送

昭和六年十二月拾八日發送済

淨書

正校(原稿)

(淨書)

(原議用紙用)+

主 管 通 商 局 長 任 第 一 課 長

(起草昭和六年十一月十日)

通 一 普 通

機 合 三六〇 號

昭 和 昭 和 六 年 十 月 拾 八 日 附

附 屬 書 通

受 信 青 木 右 衛 門 氏 宛

發 信

武 富 通 商 局 長

人 名 廣 橋 透 信 管 船 務 長

人 名

件 名 印 各 二 枚 付 同 稅 取 込

名 込 綴

各 國 關 稅 並 法 規 關 係

本 件 二 關 係 十 月 八 日 附 通 一 機 密 合 第 三 六 〇 號

號 以 上 申 進 置 塔 爾 處

今 般 更 三 在 カルカマ 酒 司 取 込 事

ヨリ 別 紙 寫 ノ 通 電 報 ア リ タ ル

二 付 御 奉 寄 右 茲 二 送 付 ス

小 本 信 寫 送 付 先 大 宛 主 稅 商 二 送 付 送 信 管 船 務 長

懸 案

E3.1.2X1-135

公 信 案

外 務 省

(昭和六年十一月十四日附カクカマ酒司來信第六三號並附屬書寫其修正通電報添付ノコト)

3.2

18 121

E-1190

秘

昭和十一年十一月十四日

幣原外務大臣宛
在ルル
酒匂總領事宛

第六二號

往電第四九號ニ關シ

臨時議會ハ四日以來課稅法案ノ討議中ナルカ議會書記官長ヨリ内示
ヲ受ケタル所ニ依レハ下院提出修正案既二百二十七、内三十四ハ關
稅ニ關シ其重ナルモノハ(一)原棉輸入稅撤廢案(二)機械輸入稅撤廢案
十五(三)關稅附加稅撤廢案(四)人絹絲輸入稅ヲ從價二割五分ニ引上ケ
ントスルモノ(五)生絲絹織物人絹絲及織物並ニ之等ノ交織物輸入稅
ヲ十割ニ引上ケントスルモノ(六)靴輸入稅各四割又ハ一足ニ付八安

電信寫

ニ引上ケントスルモノ(七)原棉染料及機械ニモ附^加稅ヲ賦課セント
スルモノ(八)樟腦輸入稅ヲ舊率ノ儘據置カントスルモノ一ニシテ綿
絲布ニ關スルモノナシ右(四)及(六)ニ付テハ議會通過ノ如何ヲ問ハス政
府ハ郵稅其他ノ修正ニ依リ歲入不足ヲ補フ爲後ニ述フル修正課稅法
案作成ニ當リ之等ヲ採用スル處ナキニ非スト認メラルモ下院議長、
政府議員其他要人ノ觀測ヲ聞クニ議會通過ノ可能性アルハ(二)及(一)ノ
ミニシテ政府ハ關稅ニ付テハ若シ之等カ通過セハ之等ト商務長官提
出修正案(印刷用「インキ」輸入稅ヲ從價八分トス)トヲ考慮シ又
所得稅其他ニ關スル修正案ニ付テハ假ニ議會ヲ通過ストモ之等ヲ考
慮セスシテ唯郵稅引上率ノミヲ低減スルコトトシ此趣旨ニ依リ別ニ
修正^正財政法案ヲ作成シテ議會ニ提出シ之カ議會通過ニ努メ不通過ノ

場合ニ於テ總督ニ於テ之ヲ「サーテイファイ」スヘク從テ(三)乃至(六)
ノ如キハ到底議會モ通過セサルヘク又政府ノ修正案ニモ採用セラレ
サルヘントノコトナリ
註買、蘭貢ニ轉電シ、英ニ贈送セリ

文書課長 公 信 案

文書課發送 昭和六年十月廿日 發送済

主 管 通商局長 主任 第一課長 (起筆) 昭和六年十月廿日 附 附屬書 通

直一機密 第三十四二號 大正 附屬書 通

受信 青木大蔵氏 宛 武富通商局長

人名 廣幡 逕信管 宛 長

件名 印 及 之 夜 丁 心 國 稅 改 正

名 込 綴 各國關稅並法規關係 印 之 印

本件 二 三 之 十月 廿 日 改 通 一 機 密 令 号

三二〇 号 一 号 以 予 中 通 呈 又 一 号 今 般

更 二 衣 加 心 口 又 通 句 總 任 事 日 一 印

公 信 案 外 務 省

E3.1.2X1-185

印

各 議 會 以 前 記 後 信 以 屬 報 記 款 一

以 原 棉 輸 入 稅 撤 廢 案 予 否 決 之 由

持 裁 輸 入 稅 撤 廢 案 予 一 百 票 一 差 入

二 号 可 決 也 心 越 費 報 了 了 又 心 在

茲 之 通 報 又

本 信 送 自 迄 去 氣 又 稅 商 工 等 均 送 信 管 般

外 務 省

E-1190

電信寫

秘

昭和6

幣原外務大臣

第六五號

往電第六二號ニ關シ

議會ハ(一)ヲ否決セルモ(二)ヲ一票ノ差ニテ可決セリ

暗
本 省 十一月十八日後着

酒匂總領事

通

E-1190

秘

幣原外務大臣

第六二號

往電第四九號ニ關シ

テリ
本省

十一月十四日前着

酒匂總領事

通

臨時議會ハ四日以來課稅法案ノ討議中ナルカ議會書記官長ヨリ内示
ヲ受ケタル所ニ依レハ下院提出修正案既ニ百二十七、内三十四ハ關
稅ニ關シ其重ナルモノハ(一)原棉輸入稅撤廢案八(二)機械輸入稅撤廢案
十五(三)關稅附加稅撤廢案二(四)人絹絲輸入稅ヲ從價二割五分ニ引上ケ
ントスルモノ一(五)生絲絹織物人絹絲及織物並ニ之等ノ交織物輸入稅
ヲ十割ニ引上ケントスルモノ一(六)靴輸入稅各四割又ハ一足ニ付八安

電信寫

ニ引上ケントスルモノ一(七)原棉染料及機械ニモ附稅ヲ賦課セント
スルモノ三(八)樟腦輸入稅ヲ舊率ノ儘据置カントスルモノ一ニシテ綿
絲布ニ關スルモノナシ右(四)及(六)ニ付テハ議會通過ノ如何ヲ問ハス政
府ハ郵稅其他ノ修正ニ依リ歲入不足ヲ補フ爲後ニ述フル修正課稅法
案作成ニ當リ之等ヲ採用スル虞ナキニ非スト認メラルモノ下院議長
政府議員其他要人ノ觀測ヲ聞クニ議會通過ノ可能性アルハ(二)及(一)ノ
ミニンテ政府ハ關稅ニ付テハ若シ之等カ通過セハ之等ト商務長官提
出修正案(印刷用「インキ」輸入稅ヲ從價八分トス)トヲ考慮シ又
所得稅其他ニ關スル修正案ニ付テハ假ニ議會ヲ通過ストモ之等ヲ考
慮セスシテ唯郵稅引上率ノミヲ低減スルコトトシ此趣旨ニ依リ別ニ
修正財政法案ヲ作成シテ議會ニ提出シ之カ議會通過ニ努メ不通過ノ

場合ニ於テ總督ニ於テ之ヲ「サーテイファイ」スヘク從テ(三)ノ至(六)
ノ如キハ到底議會モ通過セサルヘク又政府ノ修正案ニモ採用セラレ
サルヘシトノコトナリ
孟買、蘭貢ニ轉電シ、英ニ暗送セリ

電信課長

大臣

次官

亞細亞 歐米 通商 條約 情報 文化 人事 文書 會計

寫送先

E3, 1, 2 XI-185

昭和6 二〇七五六 暗 カルカタ 本 省 十一月廿六日前着 通 廿五日後發

幣原外務大臣

第六八號

往電第六二號ニ關シ

議會 甲、機械輸入稅撤廢案ノ外乙、所得稅ニ關スル修正案ヲ可決
セシモ政府ハ此等修正案ニ從ヘハ約四千萬留比ノ歲入減トナルヘシ
トテ唯甲ノミヲ採擇セル修正財政法案ヲ提出シタルカ多數ヲ以テ否
決セラレタル爲廿三日總督ハ原案ヲ「サーテファイ」セリ從テ關稅
法案ハ近ク原案通りニテ法律トナルヘシ
孟買、蘭貢へ暗送セリ

各國關稅並法規關係

記

外務省

文書課發送

文書課長

公 信 案

別紙

(原議用紙中)

主 文書課發送

昭和六年十一月廿七日發送濟

淨書 正校(原稿) (淨書)

主 通商局長

任第一課長

昭和六年十一月廿七日

附屬書 通

通 機密第三七〇九號

昭 和 年 月 日 附

附屬書 通

受 信 青木大藏

川久信商工官

發 信 武富通商局長

人名

人名 廣情進信管船局長

印 及ニ於ケル因 稅取云

名 込 綴

各國關稅並法規關係 印五ノ部

件 名 ニヨスル件

本件ニ關シ十一月廿七日附通一機密合第三七〇九號ヲ以テ申進置タル處

今般更ニ在、カルク酒司總領事

ヨリ別紙寫ノ通電報アリタル

ニ付爲御參考右茲ニ送付ス

本信寫送付先大藏省稅商工官及進信管船各局長

懸案

懸案

E3, 1, 2 XI-185

公 信 案

(昭和六年十一月二十三日 附在Rカク酒司來電第百八號並附屬書寫其修正通電報作成添付ノコト)

外 務 省

27 69

E-1190

秘

電信寫

幣原外務大臣宛

鈴木本署

往電第百二十一號ニ關シ

議會ハ甲、機械輸入稅撤廢案ノ外乙、所得稅ニ關スル修正案ヲ可決
 セシモ政府ハ此等修正案ニ從ヘハ約四千萬留比ノ歲入減トナルヘシ
 トテ唯甲ハミヲ採擇セル修正財政法案ヲ提出シタルカ多數ヲ以テ否
 決セラレタル爲廿三日總督ハ原案ヲ「サーテフアイ」セリ從テ關稅
 法案ハ近ク原案通りニテ法律トナルヘシ
 本署、蘭省ニ陪送セリ

オランダ
 十一月廿六日 前着
 在オランダ
 酒匂總領事 夜復

E-1190

公
信
案

外
務
省

今般在、カ、カ、夕、酒、句、然、但、事、日、リ、覆、報、有
之、候、系、右、茲、ハ、及、通、報、候、茲、天

E-1190

秘

電信寫

幣原外務大臣

第六八號

往雷第六二號ニ關シ

議會ハ甲、機械輸入稅撤廢案ノ外乙、所得稅ニ關スル修正案ヲ可決
セシモ政府ハ此等修正案ニ從ヘハ約四千萬留比ノ歲入減トナルヘシ
トテ唯甲ノミヲ採擇セル修正財政法案ヲ提出シタルカ多數ヲ以テ否
決セラレタル爲廿三日總督ハ原案ヲ「サーテフアイ」セリ從テ關稅
法案ハ近ク原案通りニテ法律トナルヘシ
孟買、蘭貢ヘ暗送セリ

カルカタ
本省

十一月廿六日前着

通

酒匂總領事